

★ O I S R - W A T C H ★

◆◆◆法政大学大原社会問題研究所公式サイト“OISR.ORG” Newsletter◆◆◆

No.13 2000年1月12日発行

★OISR-Watchは法政大学大原社会問題研究所の公式サイト“OISR.ORG”

<http://oisr.org>

の最新情報をお伝えするニュースレターです。購読は無料です。

月に1回か2回程度、配信します。ご希望の方は

webmaster@oisr.org

までメールでお申し込みください。

目 次

【お知らせ】

【新着一覧(1999年12月14日～1月11日)】

- ◆ 研究所情報
- ◆ 大原デジタルライブラリー(電子図書館・資料館)
- ◆ 社会労働関係リンク集
- ◆ スタッフ個人サイト
- ◆ 研究所刊行物
- ◆ 英語版
- ◆ 社会問題研究リソース
- ◆ レッスン
- ◆ OISR.ORG 20世紀ポスター展
- ◆ OISR.ORG全文検索

【OISRコラム】

- ◆ 社会・労働関係サイト探検(9)
- ◆ ウェブ・スタイリストの生活と意見[12](兼任研究員 野村 一夫)

【編集後記】

【お知らせ】【お知らせ】【お知らせ】【お知らせ】【お知らせ】【お知らせ】

◆ Yahoo Japan「今週のオススメ」12月27日号で、OISR.ORGが「毎日ウェブサーフィン三昧のYahoo!サーファーたちから、『1999年を振り返ったらコレでしょう』というサイト」の一つとして紹介されました。 <http://www.yahoo.co.jp/picks/19991227.html>

 【1999年12月14日～1月11日】
 新 着 一 覧

△▼△▼△ 新着情報 △▼△▼△

【研究所情報】<http://oisr.org/about/toc01.html>

(1) 新着図書目録(1999.12受け入れ分)(99.12.24掲載)

(2) 「外部評価コーナー」をデジタルライブラリーから研究所情報に移す。

(2) OISR-WATCH No.12(99.12.16掲載)

【大原デジタルライブラリー(電子図書館・資料館)】

<http://oisr.org/dglb/index.html>

★社会労働関係文献データベース★

<http://oisr.org/kensaku/ronbun.html>

<http://oisr.org/kensaku/washo.html>

<http://oisr.org/kensaku/yosho.html>

○データは、毎月更新しています。(最新: 99. 12.24)

【社会労働関係リンク集】

<http://oisr.org/links/toc03.html>

★社会・労働関係リンク集★

1月3日よりリンク集のページのタグをリスト形式から表形式に変更する作業を始めました(1月10日現在13ページのうち5ページ完了)。表記上は変わりませんが、タグを変えることで、一部のブラウザでリンク集が読みずらくなる問題が防止できると考えます。

(追加したサイト、今回から解説も加えました)

(1)基礎科学研究所(00.1.11追加)

「勤労者とともに勤労者のための経済学を創造しよう」というスローガンのもと、1968年に設立された研究所。研究所案内、出版物の紹介、行事予定など。機関誌『経済科学通信』および出版物の目次、研究会のプログラムなどを見ることができる。

(2)高見闘争へようこそ(00.1.11追加)

「精神障害者」として兵庫県芦屋郵便局から首を切られた高見元博氏の、首切り撤回・職場復帰を求めた裁判闘争に関するサイト。闘争の概要、その社会的意義など。

(3)延岡学園守る会のホームページ(00.1.11追加)

堀田先生解雇事件、裁判闘争の記録、組合と学園との団交の記録など。

(4) Insitute for Workers' Rights (00.1.8追加)

92年に設立された韓国の労働研究所。労働政策への提言、労働組合へのコンサルティング、労働者教育を活動の中心としている。労働関係のデータベース作成にも力を入れている。

(5) 明治書院労働組合(00.1.6追加)

1986年結成。99年に会社側が組合4役を含む組合員10名の整理解雇を通告、組合側は都労委に不当労働行為の救済申し立てを行っている。争議の経過、会社との団交の記録、組合ニュースなどを掲載。

(6) 自治労旭川市職員労働組合(99.12.31追加)

「自治労旭川とは」、「教宣紙コーナー」、「働く者のQ&A」など掲載。

(7) ミノルタ労働組合(99.12.29追加)

電機連合加盟。組合紹介、専門部の活動案内、「組合って何」など。一部のページは組合員専用。各専門部や分科会がページを持っている。

(8) NTT労組大阪支部(99.12.29追加)

西日本本部の支部の1つ、約30の分会がある。定期大会、研修会などの活動報告が中心。「居住者の会」のホームページ、『通信白書』へのリンクもある。

(9) 東大阪教職員組合(99.12.25追加)

組合の綱領・規約、教育行政への提言、最近の機関紙の記事、活動予定の案内など。

(10) 酪農学園職員組合(99.12.24追加)

組合活動の日程、大会報告、「組合員手帳」、「労使間協定」、道内私立大学の職員構

成のデータなど。主に組合員向け。

(11) 自治労大東市職員組合(99.12.24追加)
1989年結成。組合結成の背景説明、「大東市職員組合が考える自治体改革案」(PDFファイルでも読める)、「つれづれなるままに・・・」、電子掲示板など。

(12) ゼンセン同盟大阪支部(99.12.24追加)
大阪地区の繊維、衣料、流通、フード・サービスなどの産業の労働者を組織。組織人員約62000人。組合概要、加盟組合の紹介、あっせん商品の紹介、活動の報告・予定、各地域協会のニュースなど。

(13) サンデーサン労働組合(99.12.24追加)
ファミリーレストラン・チェーン「サンデーサン」の労働組合。委員長挨拶、三役・中執紹介、歴代役員紹介、労働協約など。主に組合員向け。

(14) ようこそヘルパーユニオンへ(99.12.22追加)
ヘルパーは労働者なのか事業者なのかをめぐる裁判の記録。ヘルパー派遣会社の実態についても言及。

(15) 静岡大学教職員組合(99.12.22追加)
委員会等の議題、独立行政法人問題のページ、組合や独立行政法人問題に関するQ & Aなど。

(16) Fritz-Huser-Institute für deutsche und ausländische(99.12.22追加)

(17) 労働運動研究所(99.12.21追加)
研究所案内、研究会案内、『労働運動研究』目次など。

(18) Ustav pro Soudobě Dejiny AV CR (INSTITUTE OF CONTEMPORARY HISTORY)
(99.12.21追加)

(19) Institut für Soziale Bewegungen (99.12.21追加)

(20) シルバー人材センターリンク集(SILVER COM) (99.12.19追加)

(21) Solidarnosc (ポーランド独立自主労組「連帯」英語版)(99.12.19追加)

(22) Hyundai Heavy Industries Worker's Union (99.12.19追加)
ハンゲルのみだが、労働現場や闘争の画像を見ることができる(英語で画像ページへの案内がある)。

(23) 愛知県教員組合 (99.12.19追加)
委員長のあいさつ、活動案内、教育問題への提言・取り組みに関するページもある。

(24) 首都圏建設産業ユニオン (99.12.19追加)
首都圏の建設労働者・職人の組合。約2万人加盟。

(25) 現代自動車労働組合 Precision and Ind Branch(99.12.18追加)
ハンゲルのみ。

(26) 失業者ユニオン(99.12.17追加)
99年10月3日結成、マスコミで紹介され話題になる。結成趣意書、「失業者ユニオン」とは何か、規約、加入方法、活動報告などが掲載されている。

(27) NEC労働者懇談会(ELICNEC) (99.12.15追加)
NECとその関連職場の労働者が、労働運動の本来のあり方を考えるため96年に結成した。「トピックス」、「おしらせ」、「労働組合って何?」、「ザ・リストラ」、「ELICNEC ニュース」など。一部ファイルはPDF形式で読める。

(URL・名称を変更したサイト)

(1) 労働組合東京ユニオン(00.1.9URL変更)

(2) JAMミツミ電機労働組合(00.1.9URL・名称変更)

(3) 京都大学理学部支部教員部会(99.12.21URL変更)

(4) 社会経済生産性本部(99.12.21URL変更)

(5) 現代自動車労働組合(99.12.18URL変更)

【スタッフ個人サイト】

★ スタッフ個人サイト ★

<http://oisr.org/links/toc04.html>

○個人サイトの近況○

□二村一夫著作集(<http://oisr.org/nk/>)

近日中に、日本の労働組合運動の創設者である高野房太郎の評伝の連載を開始します。いずれは活字でも発表するつもりですが、まずは活字メディアより著者の自由度が高く訂正が容易な、また画像も多用できるオンライン版著作集で書き下ろすことにしました。最終的な分量や、どのくらいの頻度で掲載できるかは、始めて見ないとわかりません。ただ心づもりとしては、オンライン版向きに1回の分量は少な目に、その代わりなるべく頻繁に追加したいと考えています。

□「五十嵐仁ホームページ」(<http://oisr.org/iga/home.htm>)

1月11日と12月21日に更新しました。

【研究所刊行物】

<http://oisr.org/pub/toc05.html>

【英語版】

<http://oisr.org/english/toc06.html>

(1) List of Recent Publications and Periodicals (99.12.20掲載)

Links to Labor and Social Websites in Japanにつぎのサイトを追加し、あるいはURLを訂正しました。

<http://oisr.org/links/elinks.html>

(1) Kiso Keizai Kagaku Kenkyusyo(00.1.11追加)

(2) Nojiren (99.12.19追加)

【社会問題研究リソース】

社会問題研究に関するさまざまな基本文献やインターネット上のリソースを提供する研究案内です。(現在は、今後カバーする社会問題のリストとプロジェクトのプランのみ)。

<http://oisr.org/sp/index.html>

【レッスン】

OISR.ORG作成の舞台裏をお見せします。社会科学系サイトの水準向上のために、ともに学び、ともに悩みます。OISR-Watch 連載のコラムもここで順番に読めるようになりました。

<http://oisr.org/lesson/index.html>

【OISR.ORG 20世紀ポスター展】

ミレニアム特集として、法政大学大原社会問題研究所が所蔵する歴史的ポスター資料約2600点をオンライン展示しています。戦前期日本における〈モダンの力〉をご鑑賞ください。8秒間隔のスライドショー形式でお届けします。
<http://oisr.org/poster/index.html>

(1) OISR.ORG20世紀ポスター展:イントロダクション(99.12.22掲載)

【OISR.ORG全文検索】

<http://oisr.org/cgi-bin/namazugi>
「日本の労働サイト」の登録サイトが377サイトになり、うち52サイトが全コンテンツを対象に検索できます。(99.12.25)

△▽△▽△▽△▽△▽△▽ OISR コラム △▽△▽△▽△▽△▽△▽
このコーナーは、当研究所関係者のコラムを掲載します。今回は、二村一夫名誉
研究員、野村一夫兼任研究員の記事を掲載します。

なお、コラムのバックナンバーは、
<http://oisr.org/lesson/index.html>
で見ることができます。

社会・労働関係サイト探検(9)
— Labour Website of the Year 1999 —

二村一夫

皆さま、明けましておめでとうございます。個人的な事情で、何回か休載してしまい、申し訳ありません。

さて、2000年の最初の探検の旅をどこにしようか迷っていたのですが、1月4日に LabourStartが「1999年度の最優秀労働サイト」の投票結果を発表しましたので、それについて紹介することにしました。

LabourStartそのものについては、本コラムの第4回で紹介しています。
http://oisr.org/lesson/watch_nk04.html

したがって、あらためて申し上げることもないと思いますが、世界の労働運動関係者がインターネットでまず最初にアクセスすべき「国際労働運動のホームページ」を目指しているサイトです。

The Labour Movement and the Internet; the New Internationalism (労働運動とインターネット—新たな国際主義)の著者エリック・リーによって制作、運営されています。」

なお、この本と著者のことは、つぎの私の紹介文をご参照ください。
<http://oisr.org/nk/brlmandinternet.html>

LabourStartは、毎週、労働運動関係の注目サイトを選んでいり、年1回、その年の注目サイトを一般の投票によって選出しています。1999年の最優秀サイトに選ばれたのは、なんとなんとあのIWW(Industrial Workers of the World=世界産業労働者同盟)でした。ご承知のとおり、IWWは、1905年にアメリカで生まれた急進的な労働組合です。「労働者階級と使用者階級の間には共通するものはなにもない=The working class and the employing class have nothing in common」とする立場から「賃金制度の廃絶」を要求し、全世界の労働者をOne Big Unionに組織することを目指した、労働運動史上ではたいへん有名な組織です。すでに消滅してしまった歴史的な存在だと思っておりましたが、現存していたのです。どうやら、インターネットがこの歴史的な組織を国際的に復活させつつあるようです。URLはつぎの通りです。

<http://iww.org>

組織はアメリカが中心ですが、イタリア、オーストラリア、カナダ、フィンランドにもあり、それぞれつぎのように独自のホームページをもちています。

イタリア

<http://web.tiscalinet.it/andbene/>

オーストラリア

<http://www.iww.org.au/>

カナダ

<http://iww.ca/>

フィンランド

<http://www.saunalahti.fi/~ravelre/solid/>

さすがに全世界の労働者階級をうって一丸としようとする組織らしく、規約の前文は英語のほかに、スペイン語、フランス語、イタリア語、ブルガリア語、スウェーデン語、フィンランド語で読むことができます。

多言語であるだけでなく、テキスト、画像、音声など多様な形式での発信もこのサイトの特色です。IWWラジオ・ネットワーク

<http://jones.iww.org/radio/>

などというものさえあります。

また、産業別組織のサイトや支部のサイトだけでなく、Wobblies、つまりIWWの組合員個人のサイトもけっこう内容豊富で、なんとかのノーム・チョムスキー

<http://www.zmag.org/chomsky/index.cfm>

もこのなかに含まれているのを発見しました。

LabourStartの年次最優秀サイトは、読者の投票によって選出されるので、組織票的な投票が行われる可能性もあるわけですが、IWWの場合は、全サイト網の制作に関与している人の数が他よりはるかに多いのではないかと想像されます。

ちなみに、LabourStartのLabour Website of the Year 1999 の第2位から9位はつぎのとおりでした。いずれも、世界の労働運動に関する優れたサイトですから、訪問されてみてはいかがでしょうか。

2) ICEM North American Regional Office — 国際化学・エネルギー・鉱山・一般労連北米地域事務所

<http://www.icemna.org/>

3) GMP Local 238 — 正式名称は、Glass, Molders, Pottery, Plastics & Allied Workers International Union — 1842年設立という古い歴史をもつガラス瓶製造工だそうす。第238支部はインディアナ州ココモにあります。

<http://www.gmp238.org/>

4) Chelmsford and District Trades Union Council — イギリス労働組合会議の地域組織です。チェルムスフォードはイギリス南部エセックス州の州都です。

<http://wkweb5.cableinet.co.uk/maljan>

5) Workers Online — オーストラリア・ニュー・サウス・ウェールズ州労働組合評議会が制作提供しているLaborNetの週刊のオンラインジャーナルです。これはすごい。

<http://labor.net.au/workers/magazine/latest>

6) Public Services International Research Unit — 国際公務員労連が資金を出し、公企業の民営化に関係している多国籍企業に関する研究や情報提供をおこなう機関。あのCyber Picket Lineを運営しているスチーヴ・デイヴィーズも参加している。今年の4月からはイギリスのグリニッジ大学に所属することになるらしい。Cyber Picket Lineについては、私の「インターネットと労働運動」(<http://oisr.org/nk/internetandlm.html>)を参照してください。

<http://www.psir.org/>

7) American Federation of State, County and Municipal Employees — AFL-CIOに所属するアメリカの地方公務員組合連盟

<http://www.afscme.org/>

8) LabourStart — 本稿の冒頭参照。

<http://www.labourstart.org/>

9) GPMU — The Graphical, Paper & Media Union、イギリスおよびアイルランドで印刷、出版、新聞などメディア関係の労働者20万人を組織。

<http://www.gpmu.org.uk/>

(にむらかずお・名誉研究員)

ウェブ・スタイリストの生活と意見[12]

「ねじ釘」の画家・柳瀬正夢生誕百年

野村一夫(兼任研究員)

西暦2000年になりました。みなさま、ミレニアムにおきましても“OISR.ORG” + “OISR-WATCH” とともに、よろしく願いいたします。

その後「OISR.ORG20世紀ポスター展」の作業は少しずつ進行しております。16枚程度の「イントロダクション」も書きましたので、ご参照ください。

<http://oisr.org/poster/intro.html>

現在、画像がほぼできあがりつつありまして、これからオーサリングにかかる所です。ご案内ページにはすでに「労働組合」「労働争議」「農民組合」という3つの大項目を追加してあります。

<http://oisr.org/poster/>

さて、これまで労働史・労働運動史という世界にまったくかかわったことがなかった私は、このポスター展を公開するまで、これらのポスターの作者がまったく無名人たちとばかり思っていました。タッチが似ているのも、様式として「プロレタリア系」であるがゆえの統一性だと思っていたのです。でも、その独特の力強さには何か「今さらながらの新鮮さ」(レトロモダンと呼んでもいいのですが)を感じて、歴史的資料価値もさることながら美術的に鑑賞してもいいのではないかと思ったのです。

ところが、そのうちの何枚かは著名な画家によるものだということを制作過程で内外のみなさんから教えていただきまして、いささかビックリしている所です。その画家の名前を柳瀬正夢(やなせ・まさむ)といいます。1900年1月12日生まれといますから、今日(OISR-WATCH発行日ー編集者注)でちょうど生誕百年になります。1945年5月25日の東京空襲で死亡した戦前の画家です。

年末にあるオフ会兼忘年会で指摘されまして、とりあえずインターネット上で資料を探してみましたら、けっこうたくさんありまして「私だけが知らなかったのか・・・」と無知を悟りました。そのおもなページです。

<http://www.kt.rim.or.jp/~katsuma/jiten.f/yanasemasamu.html>

http://www.ritsumei.ac.jp/kic/a06/3/t1/t1_11.html

<http://www.iwanami.co.jp/.BOOKS/00/6/0017920.html>

http://www.kyoto-np.co.jp/kp/koto/kodawari/sepia/sepia_index.html

<http://www.parkcity.ne.jp/~marcl/gallery/masamu/index.htm>

<http://www.ritsumei.ac.jp/kic/a06/kodomo/hantai.html>

では、今回の「OISR.ORG20世紀ポスター展」には何点作品があるかという、はっきりしているのは50点です。ためしに“OISR.ORG” 自慢の「マルチメディアDB基本ファイル」で調べてみましょう。

<http://oohara.mt.tama.hosei.ac.jp/dglb/yanasem.html>

これで「ポスター・データベース」をチェックしたまま検索すると50件でできます。そのほかにも挿画・装丁などで「《日本社会運動史料》筆者名検索」で65件、「書簡データベース」で1件(2枚)でできます。これらはいずれも研究所所蔵の資料です。

ついでに「和書データベース」で検索すると11件の所蔵図書がありました。そのうち9冊を研究所の書庫から借りて冬休みにつらつら読んでおりました。伝記としては、井出孫六『ねじ釘の如く——画家・柳瀬正夢の軌跡』(岩波書店、1996年)が圧巻です。とくに治安維持法違反容疑で獄中生活を強いられるあたり、感慨を覚えずにはおれません。古いものでは、志を同じくした同業者による、まつやまふみお『柳瀬正夢』(五味書店、1956年)という小さな本があります。1940年代末に書かれたもので、戦前のプロレタリア系美術運動の様子が詳しく語られています。研究書としては、武蔵野美術大学柳瀬正夢共同研究による『柳瀬正夢研究』の1と2が書庫にありました。どうやらこのチームが中心になって90年代の柳瀬研究が一気に進んだようです。

画集としては、次のものが当研究所にあります。新しいものから並べてみましょう。

(1)柳瀬正夢研究会編『柳瀬正夢——反骨の精神と時代を見つめる眼』(柳瀬正夢研究会、1999年)。

(2)柳瀬正夢作品整理委員会編『ねじ釘の画家 没後四十五年柳瀬正夢展——武蔵野

□あけましておめでとうございます。20世紀最後の年、よろしく申し上げます。

□当研究所WEBサイトは大きな「Y2K問題」もなくなんとか年を越しました。実は、小さなY2K問題が起きました。

□更新日の記録を行うJAVA SCRIPTが2000年に対応する設定になっていなかったため、「最終更新日1900.1.3」となってしまう、何が原因か最初はわかりませんでした。しかし、JAVA SCRIPTの設定の一部を1900から2000に変えることで2000年が表示されることがわかり、問題は解決しました。

□今年も去年に続き、画像データの充実、社会・労働問題リンク集、社会問題リンク集の拡充を計画しています。ご期待下さい。

(文責:鈴木玲)

OISR.ORGでは皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。
更新情報ニュースレター“OISR-Watch”(無料)をご希望の方は
こちらにお申し込みください。

E-mail: webmaster@oisr.org

購読を中止するときはこちらにご連絡ください。

法政大学大原社会問題研究所 (<http://oisr.org>)

〒194-0298 東京都町田市相原町4342
TEL 042-783-2307 FAX 042-783-2311

[2000年1月10日開始、担当・鈴木玲]

OISR-WATCH (Table of Contents)

[法政大学大原社会問題研究所 \(http://oisr.org\)](http://oisr.org)
